

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 6 年 7 月 24 日(2024.7.24)

【公開番号】特開 2020-184520(P2020-184520A)

【公開日】令和 2 年 11 月 12 日(2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-046

【出願番号】特願 2020-68806(P2020-68806)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/514(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 R 13/514

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 16 日(2024.7.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気コネクタ機構のコネクタ(1)であって、前記電気コネクタ機構が、前記コネクタ(1)と、対合部片として前記コネクタ(1)に割り当てられた対合コネクタ(9)とを有し、前記対合コネクタ(9)に、前記コネクタ(1)が差込方向(S)で差込可能であり、前記コネクタ(1)が、ハウジング(2)と、前記ハウジング(2)内に少なくとも部分的に配置された複数の電気プラグコンタクト(72)とを有し、前記電気プラグコンタクト(72)が、整列方向(A)で互いに並べて配置され、前記差込方向(S)と前記整列方向(A)とによって成される平面に平行に配置された前記ハウジング(2)の第1のハウジング壁(10)が、前記ハウジング(2)の第2のハウジング壁(20)に隣接し、前記第2のハウジング壁(20)が、差込方向(S)に向き、前記第1のハウジング壁(10)に対して角度を付けて配置され、

30

a)前記第1のハウジング壁(10)が、機能要素(8)を収容するための、長手方向が差込方向(S)に延びる少なくとも1つの第1の収容溝(11)を有し、

b)前記第2のハウジング壁(20)が、機能要素(8)を収容するための少なくとも1つの第2の収容溝(21)を有し、

前記ハウジング(2)が、前記第2のハウジング壁(20)に隣接し前記第2のハウジング壁(20)に対して角度を成す第3のハウジング壁を備え、前記第2の収容溝(21)が、前記第3のハウジング壁で終端し、

前記第2の収容溝(21)が、前記第3のハウジング壁に開口端を有する
ことを特徴とするコネクタ(1)。

40

【請求項 2】

前記第2のハウジング壁(20)が、前記第1のハウジング壁(10)に対して直角に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記第1の収容溝(11)が、前記第2のハウジング壁(20)の外面の平面に交差することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記第2の収容溝(21)が、前記第1のハウジング壁(10)の外面の平面に交差することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のコネクタ。

50

【請求項 5】

前記ハウジング(2)に、前記第1の收容溝(11)が前記第2の收容溝(21)に接続される交差領域(30)が設けられる、または前記第1の收容溝(11)が前記第2の收容溝(21)とは別々に形成されることを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 6】

前記第1の收容溝(11)および/または前記第2の收容溝(21)が、少なくとも1つのアンダーカットを有する輪郭を有することを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 7】

1つ、複数、またはすべての第1の收容溝(11)について、前記第1の收容溝(11)が前記コネクタ(1)のそれぞれ1つのプラグコンタクト(72)に空間的に割り当てられるということが当てはまることを特徴とする請求項1から6のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 8】

1つ、複数、またはすべての第2の收容溝(21)について、前記第2の收容溝(21)が前記コネクタ(1)のそれぞれ1つのプラグコンタクト(72)に空間的に割り当てられるということが当てはまることを特徴とする請求項1から7のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 9】

1つ、複数、またはすべてのプラグコンタクト(72)が、導電体を前記プラグコンタクト(72)に固定するためのそれぞれ1つの固定要素(7)を有し、前記固定要素(7)の少なくとも一部分が、前記ハウジング(2)の台座形状の区域に配置され、前記区域が、前記差込方向(S)で前記第2のハウジング壁(20)によって画定されることを特徴とする請求項1から8のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 10】

前記整列方向(A)に垂直に延び、前記第1の收容溝(11)の中心を通過して前記第1の收容溝(11)の長手方向に延びる中心面と、前記整列方向(A)に垂直に延び、前記第2の收容溝(21)の中心を通過して前記第2の收容溝(21)の長手方向に延びる中心面が、同一平面上にまたは互いに平行に整列されていることを特徴とする請求項1から9のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 11】

前記第2の收容溝(21)が、前記第1の收容溝(11)と整列して配置されていることを特徴とする請求項1から10のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 12】

前記コネクタ(1)が、個々のコネクタセグメントから複数の部片で組み立てられており、各コネクタセグメントが、個別のハウジング(5)を有し、前記コネクタ(1)の前記ハウジング(2)が、コネクタセグメントの組み立てられた前記ハウジング(5)から少なくとも部分的に形成されていることを特徴とする請求項1から11のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 13】

請求項1から12のいずれか一項に記載のコネクタ(1)と、対合部片として前記コネクタ(1)に割り当てられた対合コネクタ(9)とを有し、前記対合コネクタ(9)に前記コネクタ(1)を差込方向(S)で差し込むことができる、または差し込まれることを特徴とする電気コネクタ機構。

【請求項 14】

請求項1から13のいずれか一項に記載の少なくとも1つのコネクタと、前記第1の收容溝(11)および/または前記第2の收容溝(12)に固定可能な少なくとも1つの固定領域(83、84)を有する少なくとも1つの機能要素(8)とを備えるセット。

【請求項 15】

前記第 2 の収容溝 (2 1) の長手方向が、前記差込方向 (S) と前記整列方向 (A) とによって成される平面に垂直に延びることを特徴とする請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 6 】

本発明の有利な形態によれば、第 1 および第 2 の収容溝の長手方向に延びる、第 1 および第 2 の収容溝のそれぞれの中心面は、同一平面上にまたは互いに平行に整列されることが企図される。これにより、第 1 の収容溝を第 2 の収容溝に空間的に割り当てることができる。ここで、第 1 の収容溝の長手方向とは、第 1 の収容溝が第 2 のハウジング壁から延び出る方向を意味する。ここで、第 2 の収容溝の長手方向とは、第 2 の収容溝が第 1 のハウジング壁から延び出る方向を意味する。それぞれの収容溝の中心面とは、整列方向に垂直に延び、中心でそれぞれの収容溝を通してその長手方向に延びる平面を意味する。これは、第 1 および第 2 の収容溝での機能要素の追加の有利な固定オプションを可能にする。

10

20

30

40

50